



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社サガミホールディングス 上場取引所 東・名  
 コード番号 9900 URL https://www.sagami-holdings.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 尚真  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理担当 (氏名) 中島 康文 (TEL) 052-737-6000  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	31,006	17.3	1,656	81.9	1,722	9.4	909	2.6
2023年3月期	26,423	23.8	910	—	1,574	△30.1	886	△25.7

(注) 包括利益 2024年3月期 1,054百万円(2.4%) 2023年3月期 1,029百万円(△16.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	30.14	—	5.5	7.0	5.3
2023年3月期	29.38	—	5.7	6.5	3.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	24,943	16,815	67.4	557.15
2023年3月期	24,156	15,936	65.9	528.51

(参考) 自己資本 2024年3月期 16,815百万円 2023年3月期 15,936百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2,458	△3,828	△1,347	8,011
2023年3月期	1,725	△1,408	△1,172	10,725

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	211	23.8	1.3
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	302	33.1	1.8
2025年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00		—	

(注) 2023年3月期期末配当の内訳 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭

2024年3月期期末配当の内訳 普通配当8円00銭 特別配当2円00銭

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	6.4	980	5.3	1,000	3.0	740	0.7	24.51
通期	32,000	3.2	1,750	5.6	1,800	4.4	1,000	9.9	33.13

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	30,301,784株	2023年3月期	30,301,784株
② 期末自己株式数	2024年3月期	18,017株	2023年3月期	17,762株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	30,170,770株	2023年3月期	30,153,374株

(注) 「株式給付信託（BBT）」制度に関する株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,140	22.4	431	659.7	465	580.9	447	629.3
2023年3月期	2,565	△9.2	56	△85.6	68	△85.0	61	△87.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	14.81		—					
2023年3月期	2.03		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	20,923	16,558	79.1	548.60
2023年3月期	20,637	16,137	78.1	535.16

(参考) 自己資本 2024年3月期 16,558百万円 2023年3月期 16,137百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行したことにより、景気の自律的な循環を制約してきた要因は解消され、加えて政府による経済活動促進策の実施や訪日外国人旅行者数の増加などにより、消費マインドの改善と人流の回復がみられ、景気は緩やかに回復いたしました。一方、不安定な国際情勢や、燃料及び資源価格の高騰、為替相場における円安の進行などによる物価上昇や輸入コストの増加により、先行き不透明な状況が依然継続しております。

外食産業におきましては、経済社会活動の正常化が進む中で、各種催事の復活や外出機会の増加による国内消費・外食需要の高まり、及びインバウンド消費の拡大などにより集客は改善しております。一方で、食材の仕入れ価格や人件費、光熱費、物流費などのコスト上昇やコロナ禍以降、顕著化する採用難など厳しい経営環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、中期経営計画2023-2025『Together』にもとづき、「持続可能性」の追求と「再成長」の実現をテーマとして、基本的価値である“おいしさ・おもてなしの向上”及び「こころとからだ」の健康を目指した“食による提供価値の追求”に取り組んでおります。また、当社最大の経営資源である人財の「物心両面のゆたかさ」を実現し、従業員の「生きがい」と「やりがい」を両立することで、引き続きお客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

各事業部門の概況は次のとおりであります。

#### 外食事業

##### ① 和食麵処サガミ部門

和食麵処サガミ部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を7回実施いたしました。

また、4月に「ゴールデンウィーククーポン配布企画」及び「新メニュー告知チラシの折り込み」、5月に「母の日メニュー」の販売、6月にうなぎメニューを訴求した「父の日企画」、7月に「夏の感謝祭」、9月に「シルバーウィーククーポン配布企画」及び「敬老の日フェア」、11月に「冬の感謝祭」、12月に「年末年始割引券配布企画」、1月に「北のめぐみ・恵方巻告知チラシ折り込み企画」、3月に「創業感謝祭」を各1回実施いたしました。加えて、7月に「夏の感謝祭テレビCM」、8月に「北海道味めぐりメニューのテレビCM」、11月に「冬の感謝祭テレビCM」、12月に「ゆく年くる年テレビCM」、3月に「創業感謝祭テレビCM」を放映いたしました。

一部地域限定の販売促進企画としては、4月に「センキョ割」、7月に「御園座招待企画」を実施いたしました。12月の年末においては、「そば食べ放題」や「年越しそば」の歳時企画を実施いたしました。

これらの施策により、既存店客数は前年同一期間に対して12.6%増、客単価は前年同一期間に対して4.1%増となり、既存店売上高は前年同一期間に対して17.2%増となりました。

店舗関係では、「和食麵処サガミ 川名店」(5月)、「和食麵処サガミ 安城桜井店」(7月)、「和食麵処サガミ 東郷店」(9月)、「和食麵処サガミ 常滑店」(10月)、「和食麵処サガミ 津島埋田店」(10月)、「和食麵処サガミ 岐阜本巣店」(12月)、「和食麵処サガミ 亀岡千代川店」(2月)、「和食麵処サガミ 飯田インター店」(3月)を出店いたしました。その一方、「和食麵処サガミ 越谷南店」(7月)、「和食麵処サガミ 清水店」(11月)を閉鎖いたしました。

当期末での店舗数は139店舗であります。

##### ② 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として、「料理フェア」を8回実施いたしました。

また、5月に「母の日御膳」メニューの販売、6月に「父の日フェア」、6月及び7月に計6日間「手延べうどん食べ放題企画」、7月に手羽先及びアルコール商品をお値打ち販売した「夏のごちそうフェア」、9月に「敬老の日フェア」、10月に「秋のごちそうフェア」、11月に「和食の日フェア」、12月に歳時メニュー(年越しそば・宴会)訴求チラシの折込み、1月に「冬の土用フェア」、2月に「節分・恵方巻フェア」及び「もつ鍋総選挙」、3月に「春の感謝祭企画」を各1回実施いたしました。

加えて、4月に岡山地区及び千葉地区において、「手延べうどんと季節メニューを訴求したテレビCM」、3月に関東地区において、「春の感謝祭と御膳メニューを訴求したテレビCM」を放映いたしました。更に、11月に東京都

内の味の民芸18店舗を対象に「食べて応援！海の幸キャンペーン」、3月に「暮らしを応援！TOKYO元気キャンペーン」に参加いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 東大和店」（6月）を閉鎖いたしました。

当期末での店舗数はFC店舗を含み50店舗であります。

### ③ どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を12回実施いたしました。

また、4月に「どんどん祭り」、11月及び1月に「GO！どんどん庵キャンペーン」を実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 名駅西店」（10月）を業態転換に伴い閉鎖いたしました。

当期末での店舗数はFC店舗を含み31店舗であります。

### ④ その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」で、「料理フェア」を8回実施いたしました。

大型セルフうどん店「製麺大学」で、「料理フェア」を12回実施いたしました。セルフ十割そば「長助」で、「料理フェア」を、「かき揚げ十割そば長助」で10回、「十割そば二代目長助」で10回実施いたしました。また、「十割そば二代目長助 野田店」で、「十割そば食べ放題企画」を10回実施いたしました。

国内店舗関係では、「水山 新宿紀伊國屋店」（10月）、「JINJIN 新宿紀伊國屋店」（10月）、「かき揚げ十割そば長助 名駅西店」（12月）、「和麵サガミ レストピアふじた店」（1月）、「十割そば二代目長助 豊田若林店」（1月）を出店いたしました。その一方で、「Dela PASTA Kitchen 土岐店」（8月）を閉鎖したほか、「あいそ家 東郷店」（8月）、「あいそ家 津島店」（10月）を業態転換に伴い閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、イタリア・ベローナ市に「SAGAMI ベローナ店」（8月）をFCで出店いたしました。その一方で、「SAGAMI ボローニャ店」（1月）を閉鎖いたしました。

当期末での店舗数はFC店舗を含み、国内27店舗、海外9店舗の合計36店舗であります。

この結果、当連結会計年度の売上高は31,006百万円、営業利益は1,656百万円、経常利益は1,722百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は909百万円となり、当期末のグループ店舗数は256店舗であります。

※前連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日）には、新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止協力金566百万円を「助成金収入」として営業外収益に計上しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、24,943百万円と前連結会計年度末に比べ786百万円の増加となりました。

流動資産は10,158百万円と前連結会計年度末に比べ2,310百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金2,713百万円の減少、売掛金344百万円の増加によるものであります。

固定資産は14,784百万円と前連結会計年度末に比べ3,097百万円の増加となりました。これは主に建物及び構築物743百万円の増加、工具器具及び備品253百万円の増加、機械装置及び運搬具182百万円の増加、長期預金2,000百万円の増加、建設仮勘定140百万円の減少によるものであります。

流動負債は5,288百万円と前連結会計年度末に比べ587百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金69百万円の増加、未払金362百万円の増加、未払法人税等161百万円の増加、賞与引当金264百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金351百万円の減少によるものであります。

固定負債は2,838百万円と前連結会計年度末に比べ680百万円の減少となりました。これは主に長期借入金772百万円の減少、株式給付引当金16百万円の増加、資産除去債務81百万円の増加によるものであります。

純資産は16,815百万円と前連結会計年度末に比べ879百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金697百万円の増加、その他有価証券評価差額金149百万円の増加によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて2,713百万円減少し、8,011百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,458百万円となりました。収入の主な内訳は税金等調整前当期純利益1,261百万円、減価償却費529百万円、減損損失458百万円、賞与引当金の増減額264百万円、未払金の増減額298百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増減額344百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は3,828百万円となりました。収入の主な内訳は差入保証金の回収による収入91百万円であり、支出の主な内訳は定期預金の預入による支出2,000百万円、有形固定資産の取得による支出1,876百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,347百万円となりました。主な内訳は長期借入金の返済による支出1,124百万円、配当金の支払による支出211百万円であります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	67.3	54.4	62.3	65.9	67.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	171.7	150.9	149.6	160.8	183.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1,022.5	—	161.7	224.1	111.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	60.7	—	386.7	270.6	555.0

(注) 自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

① 各指標は、いずれも連結ベース財務諸表により算出しております。

② 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式総数により算出しております。

③ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

④ 2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行し、景気の自律的な循環を制約してきた要因が解消されたことや、政府による経済活動促進策の実施や訪日外国人旅行者数の増加、実質賃金の改善などにより、個人消費を中心に、景気は緩やかに回復していくことが予想されます。

一方で、地政学的リスクの影響を受けた食材仕入れ価格や、エネルギーなどのコスト上昇圧力、さらに人件費の増加などを背景に、物価上昇圧力の強い状態が続くことが予想され、それにより家計の節約志向が強まることで、個人消費が低迷し、収益面への影響が懸念されます。

当社グループは、お客様起点での視座を堅持しながら、中期的な取り組みとして、「共創と共走」をテーマとし、“おいしさ・おもてなしの向上”、及び“食による提供価値の追求”に取り組み、外食産業としての本質的な提供価値向上に努めつつ、国内では、主力業態である「和食処サガミ」「味の民芸」、及び小型業態の出店、海外においては事業展開の強化を着実に進めてまいります。

また、人口減少やマーケット変化への抜本的な対応として、店舗オペレーションにおける作業面については、IT化によるDXを促進し、生産性向上策への取り組みを進めるとともに、セルフそば業態の出店を加速してまいります。

さらに、本年度から設置したサステナビリティ推進室を中心とし、地球温暖化対策やESG推進への具体的な取り組みを更に促進させ、企業価値の向上に努めてまいります。

なお、2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高32,000百万円、営業利益1,750百万円、経常利益1,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、現在日本国内が中心であることから日本基準を適用しておりますが、今後は外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めて行く方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,725,470	8,011,517
売掛金	693,270	1,037,529
商品及び製品	148,159	155,418
原材料及び貯蔵品	401,068	520,028
その他	501,235	434,047
流動資産合計	12,469,205	10,158,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,111,675	15,135,346
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,973,140	△12,253,282
建物及び構築物(純額)	2,138,535	2,882,064
機械装置及び運搬具	3,417,765	3,738,639
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,035,086	△3,173,311
機械装置及び運搬具(純額)	382,679	565,328
工具、器具及び備品	971,472	1,288,820
減価償却累計額及び減損損失累計額	△893,667	△957,677
工具、器具及び備品(純額)	77,805	331,143
リース資産	357,123	89,217
減価償却累計額及び減損損失累計額	△336,938	△73,664
リース資産(純額)	20,184	15,552
土地	6,442,133	6,442,133
建設仮勘定	153,134	12,839
有形固定資産合計	9,214,472	10,249,062
無形固定資産		
その他	94,603	95,538
無形固定資産合計	94,603	95,538
投資その他の資産		
投資有価証券	712,077	872,278
長期貸付金	43,017	38,889
差入保証金	1,414,253	1,371,404
長期預金	—	2,000,000
繰延税金資産	129,853	110,401
その他	79,284	47,017
投資その他の資産合計	2,378,485	4,439,990
固定資産合計	11,687,561	14,784,591
資産合計	24,156,766	24,943,132



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,579	842,288
1年内返済予定の長期借入金	1,160,629	808,802
未払金	1,841,692	2,204,147
未払法人税等	124,524	285,559
契約負債	98,248	65,206
賞与引当金	246,107	510,544
役員賞与引当金	49,970	49,980
店舗閉鎖損失引当金	10,711	—
その他	396,001	521,702
流動負債合計	4,700,464	5,288,231
固定負債		
長期借入金	2,681,188	1,908,892
長期未払金	165,952	163,650
株式給付引当金	84,511	100,665
資産除去債務	477,123	559,097
長期預り保証金	69,129	70,381
その他	41,835	36,218
固定負債合計	3,519,739	2,838,905
負債合計	8,220,204	8,127,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,090,653	9,090,653
資本剰余金	6,192,923	6,192,923
利益剰余金	633,337	1,330,941
自己株式	△184,531	△147,983
株主資本合計	15,732,382	16,466,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,695	354,054
為替換算調整勘定	△515	△4,594
その他の包括利益累計額合計	204,179	349,460
純資産合計	15,936,562	16,815,995
負債純資産合計	24,156,766	24,943,132

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	26,423,094	31,006,212
売上原価	8,490,260	10,069,149
売上総利益	17,932,833	20,937,063
販売費及び一般管理費合計	17,022,483	19,281,020
営業利益	910,350	1,656,043
営業外収益		
受取利息	686	556
受取配当金	27,866	26,862
為替差益	38,937	7,604
受取保険金	19,670	1,868
助成金収入	566,950	—
リサイクル収入	8,423	10,192
雑収入	37,715	29,076
営業外収益合計	700,249	76,160
営業外費用		
支払利息	6,376	4,429
保険解約損	—	4,014
貸倒損失	29,124	—
雑損失	412	876
営業外費用合計	35,913	9,320
経常利益	1,574,686	1,722,884
特別利益		
固定資産売却益	—	94
投資有価証券売却益	—	2,433
受取補償金	34,216	—
特別利益合計	34,216	2,528
特別損失		
固定資産売却損	—	345
固定資産除却損	1,339	4,367
減損損失	443,107	458,400
関係会社清算損	18,296	—
投資有価証券売却損	—	1,201
中途解約損	35,168	—
特別損失合計	497,912	464,314
税金等調整前当期純利益	1,110,990	1,261,097
法人税、住民税及び事業税	250,848	355,082
法人税等調整額	△26,010	△3,577
法人税等合計	224,837	351,504
当期純利益	886,153	909,592
親会社株主に帰属する当期純利益	886,153	909,592

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	886,153	909,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138,446	149,358
為替換算調整勘定	4,924	△4,078
その他の包括利益合計	143,371	145,280
包括利益	1,029,524	1,054,873
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,029,640	1,054,873
非支配株主に係る包括利益	△115	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,090,653	6,192,923	△101,395	△184,400	14,997,781
当期変動額					
剰余金の配当			△151,420		△151,420
親会社株主に帰属する当期純利益			886,153		886,153
自己株式の取得				△131	△131
株式給付信託に対する自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	734,732	△131	734,600
当期末残高	9,090,653	6,192,923	633,337	△184,531	15,732,382

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	66,249	△5,556	60,692	—	696	15,059,170
当期変動額						
剰余金の配当						△151,420
親会社株主に帰属する当期純利益						886,153
自己株式の取得						△131
株式給付信託に対する自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	138,446	5,040	143,487	—	△696	142,790
当期変動額合計	138,446	5,040	143,487	—	△696	877,391
当期末残高	204,695	△515	204,179	—	—	15,936,562

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,090,653	6,192,923	633,337	△184,531	15,732,382
当期変動額					
剰余金の配当			△211,988		△211,988
親会社株主に帰属する当期純利益			909,592		909,592
自己株式の取得				△348	△348
株式給付信託に対する自己株式の処分				36,895	36,895
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	697,604	36,547	734,152
当期末残高	9,090,653	6,192,923	1,330,941	△147,983	16,466,534

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	204,695	△515	204,179	—	—	15,936,562
当期変動額						
剰余金の配当						△211,988
親会社株主に帰属する当期純利益						909,592
自己株式の取得						△348
株式給付信託に対する自己株式の処分						36,895
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	149,358	△4,078	145,280	—	—	145,280
当期変動額合計	149,358	△4,078	145,280	—	—	879,433
当期末残高	354,054	△4,594	349,460	—	—	16,815,995

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,110,990	1,261,097
減価償却費	385,011	529,561
減損損失	443,107	458,400
貸倒損失	29,124	—
為替差損益(△は益)	△38,937	△7,604
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,232
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,276	264,436
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	49,970	10
株式給付引当金の増減額(△は減少)	55,607	16,154
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	10,711	△10,711
受取利息及び受取配当金	△28,552	△27,419
助成金収入	△566,950	—
支払利息	6,376	4,429
有形固定資産売却損益(△は益)	—	250
固定資産除却損	1,339	4,367
関係会社清算損益(△は益)	18,296	—
売上債権の増減額(△は増加)	△112,566	△344,164
棚卸資産の増減額(△は増加)	7,561	△126,023
仕入債務の増減額(△は減少)	164,284	69,557
未払金の増減額(△は減少)	89,654	298,154
その他	△20,699	198,807
小計	1,637,605	2,588,074
利息及び配当金の受取額	27,934	26,947
利息の支払額	△6,376	△4,429
助成金の受取額	566,950	—
法人税等の支払額	△547,204	△194,687
法人税等の還付額	47,041	42,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,725,951	2,458,221
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,353,858	△1,876,136
有形固定資産の売却による収入	—	1,944
投資有価証券の売却による収入	—	13,787
差入保証金の差入による支出	△19,179	△43,957
差入保証金の回収による収入	50,969	91,132
その他	△86,280	△15,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,408,348	△3,828,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,012,296	△1,124,123
自己株式の取得による支出	△131	△348
配当金の支払額	△150,682	△211,128
リース債務の返済による支出	△9,600	△11,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,172,711	△1,347,091
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,435	3,186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△848,672	△2,713,953
現金及び現金同等物の期首残高	11,574,143	10,725,470
現金及び現金同等物の期末残高	10,725,470	8,011,517

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において営業外収益の「その他」に含めておりました「リサイクル収益」(前連結会計年度8,423千円)は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より区分掲記しております。

(会計上の見積りの変更)

店舗等の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上している資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積額の変更を行っております。見積りによる増加額73百万円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

この結果、当連結会計年度の営業利益及び経常利益は43百万円、税金等調整前当期純利益は73百万円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	528円51銭	557円15銭
1株当たり当期純利益	29円38銭	30円14銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 「株式給付信託(BBT)」制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は113,109株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は101,700株であります。

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	886,153	909,592
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	886,153	909,592
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,153	30,170

(重要な後発事象)

該当事項はありません。